

さくら



令和5年9月19日(火)

「敬老の日」「秋分の日」



昨日は「敬老の日」、今週の土曜日は「秋分の日」です。
この両日は国民の祝日であり、法律(国民の祝日に関する法律)でその趣旨が規定されています。

「敬老の日」は「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」となっています。第2次世界大戦で敗戦国となった日本は、復興を目指してマイナスからのスタートを切りました。当時の生活は決して豊かなものではありませんでした。

戦後の復興期(昭和25年[1950年]から昭和29年[1954年])では、まだまだ社会的にも経済的にも混乱している中で、その時代を生きた人たちが復興を目指して頑張ったのです。その後の高度成長期においても、世界に追いつけとばかりに、多くの人が尽力しました。

現在、高齢者となった人たちは激動の時代を生き抜き、平和で豊かな国づくりに大きく関わってきました。私たちはこのことに感謝し、老人を敬い大切にしていかなければなりません。

また、「秋分の日」は「祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ」となっています。秋の彼岸の中日(ちゅうにち)と呼ばれる日でもあります。彼岸には墓参りに行き、ご先祖様に感謝の気持ちを伝える人もいるかもしれませんね。

私も墓参りをして、生かされていることへの感謝を伝えようと思っています。しかし、お墓が遠くにあったり、お墓がないという家庭もあるでしょう。そのような場合でも、心を落ち着けてご先祖様をしのぶとともに、日々の暮らしへの感謝の気持ちを伝えてみてはどうでしょうか。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

